

第 102 回早慶対抗陸上競技会

競技会注意事項

1. 規則について

本競技会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則及び国内広告規定により実施する。

2. アスリートビブスについて

アスリートビブスは主催者が 2 枚配布する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。大会当日、各団体の代表者が、受付へ受け取りに来ること。ただし、跳躍競技者は胸または背のみの着用で良い。トラック種目出場者は主催者が用意する写真判定用腰ナンバー標識(競技終了後回収)をパンツの右下やや後方に付ける。すべてのナンバーカードは折り曲げたりしてはならない。

3. 競技者の招集について

1) トラック種目

1 次招集：各種目の競技開始 80 分前に開始し、競技開始 60 分前までに、本部(招集所横)にて行う。その際に、シューズの確認と、腰ナンバー標識の配布を行う。

リレー種目は、オーダー用紙(本部に用意)を記入の上、当該種目の招集開始時刻の 60 分前までに、本部(招集所横)に提出すること(メンバーについては競技規則 TR24.10 を参照のこと)。

リレーの 1 次招集は 4 人揃ってから来ること。ユニフォームのチェックも同時に行う。

最終コール：競技開始 10 分前に各種目スタート地点にて、アスリートビブスの付いたユニフォーム、腰ナンバー標識を着用した状態で行う。

2) フィールド種目

1 次招集：なし

最終コール：招集は競技開始 45 分前に各競技実施場所にて、アスリートビブスの付いたユニフォームを着用した状態で行う。

3) 代理人による点呼は認めない。ただし、2 種目以上を同時に兼ねて出場する選手は、予め本人または代理人が本部(招集所横)に用意してある「重複出場届」を、招集を受けることができない種目の招集開始時刻までに 本部(招集所横)に提出すること。

4) 招集完了時刻に遅れた場合や、「重複出場届」および「リレーオーダー用紙」がそれぞれの指定された時刻までに 本部(招集所横)に提出されない場合、当該種目を棄権したものとして処理する。

5) リレー種目は、オーダー用紙に記入して、当該種目の招集開始時刻 60 分前までに本部(招集所横)に提出すること。なお、オーダー用紙は本部にて配付する。

6) 棒高跳の練習は競技実施場所で競技開始時刻 2 時間前から行うことができる。また棒高跳の招集は競技実施場所にて行う。

- 7) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態（機内モードなど）に設定している場合のみ、持ち込みを認める。

4. 欠場について（対抗・OP 共通）

- 1) やむを得ず本競技会への出場を辞退する場合は、次の要領で欠場届を提出する。欠場は番組編成に影響することがあるため、欠場が決まり次第すぐに提出すること。

大会当日に欠場が決まった場合は、本部横から欠場届を受け取り、**各競技開始時刻の 60 分前までに本部に提出すること。**

- 2) 大会前日までに棄権が決まっている場合は、メールにて、Word で作成した欠場届を提出すること。欠場届は以下のリンクのものをダウンロードして使用すること。

<https://docs.google.com/document/d/1whJeFIfBmwRyWqkIvMPTUe-2VFF-Txs/edit?usp=sharing&ouid=107995931718831577368&rtpof=true&sd=true>

5. フィールド競技について

- 1) 試技順は、プログラム記載順とする。
- 2) 対抗種目と OP 種目が実施される競技については、対抗種目と OP 種目を同時に行い、試技順は OP 種目の次に対抗種目を行う。走高跳、棒高跳は同じ高さ内でのみ適用する。
- 3) 投てき競技、跳躍競技（走高跳、棒高跳を除く）の試技数は次の通りとする。対抗種目については、全員 3 回の試技を行い、上位 8 名が記録順にさらに 3 回の試技を行って順位を決定する。出場選手が 8 名以下の場合は、出場選手全員 6 回の試技を行って順位を決定する。ただし、OP 種目については、試技の回数は 3 回とする。
- 4) 三段跳の踏切板の位置は、砂場に近い方の端から男子 12m、女子 10mとする。
- 5) 競技開始 45 分前から練習を可能とする。
- 6) 跳躍競技（走高跳、棒高跳）のバーの上げ方は競技者と相談して決定する。

6. トラック競技について

- 1) トラック競技の計時は、すべて電気計時（1/100 秒）を用いて行う。
- 2) トラック競技の走路順は、プログラム記載順とする。エントリーが 6 名以下の場合は、1 レーンを空ける。
- 3) 同成績による次ラウンド選出者の選定は競技規則 TR21 により行う。
- 4) 本競技会では、規定の厚さを超えるシューズは使用できない。WA のシューズリストを参照のこと。World Athletics LIST OF APPROVED ATHLETIC SHOES SHOE CHECKER (URL)

[Full list | LIST OF APPROVED ATHLETIC SHOES](#)

7. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具（棒高跳用のポール、やりを除く）は、すべて主催者側が用意したものを使わなければならない。
- 2) やりに関しては、検定を受け、合格したものに限り使用できる。検定は、招集完了時刻 90

分前から 60 分前までとし、本部後ろにて行う。

8. 対抗種目における正選手の入替えについて

- 1) 正選手は男子 3 人、女子 2 人とする。
- 2) 「補欠」は設けず、ナンバーカード登録されている選手(他の対抗種目、オープン種目にエントリーしている選手)内での入替えのみ認める。
- 3) 期限は大会 3 日前の 8 月 8 日(土)とし、この日までに、メール(soukei.1923@gmail.com)にて、その旨を伝えること。その際、入替えの理由を必ず明記すること。期限後の正選手入替えは認めない。
- 4) 正選手入替えの理由は怪我の他、選手の不調による変更等も認めることとする。
- 5) リレー種目に関して、対抗、OP 種目に関わらずいずれかの種目でエントリーしている選手との交代は可能とする。エントリーは最大 6 名まで可能だが、変更人数の上限は設けない。招集完了時刻前であっても、一度申告した編成の変更(オーダー用紙の差し替え)は認められない。医務員の判断による変更は、出場する選手の変更のみ認められ、編成(走る順番)の変更は認められない。

9. 対抗種目について

- 1) 対抗種目は 1 人 2 種目まで出場可とする。ただし、リレー種目は含まない。
- 2) 対抗種目にエントリーされた選手は、たとえ途中で当該種目の正選手から外れても、OP 種目へのエントリーがない限り OP 種目への出場はできない。
- 3) 対抗得点は、男女とも各種目 1 位 3 点、2 位 2 点、3 位 1 点とする。
また、リレー種目は 1 位 3 点のみとする
- 4) 男女ともに優勝校は最多得点校 1 校とし、同点の場合は、男子は 4×200mR、女子は 4×100mR の勝利校を優勝校とする。

10. オープン種目に関して

- 1) オープン種目は出場制限を設けない。
- 2) 男子棒高跳に関しては、附属・係属校および外部からのエントリーは不可とする。

11. 各種書類について

欠場届、重複出場届、リレーオーダー用紙、領収書の配布場所、提出先、依頼先などは全て本部横とする。記録証明書の発行を希望する場合は、大会本部 に申し出ること。大会終了後にメールにて送付する。

12. 競技結果について

速報サイトにて掲載する。

13. 商標等について

競技者が競技場に商品名のついた衣類、バックなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。基準をこえる商標については必ずガムテープ等を貼って隠すこと。必要に応じて、大会本部にて主催者側がテープ等を用いて対応する場合がある。

14. その他

- 1) 2026 年度の日本陸上競技連盟競技規則修改正点について特に注意すること。

- 2) スパイクを履いたままコンクリートの上を歩くことを禁止する。
- 3) 競技運営上、多少の競技日程変更がある場合もある。
- 4) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医務員が応急処置を行う。
- 5) 緊急車両の手配について、救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 6) 慶応義塾大学日吉陸上競技場開門及び閉門時刻について、**出場選手およびその関係者の入退場可能時間**は、以下の通りとする。

開門：12 時 00 分 閉門：21 時 00 分

- 7) 競技運営上の諸問題は大会総務、競技規則上の諸問題は審判長が決定する。
- 8) TR4.4 は、出場確認後に競技に出場しなかった選手などに対して、以後の競技出場を認めないとする規則だが、この競技会では適用しない。
- 9) その他、不明の点は大会本部に問い合わせること。

2026 年 8 月 03 日最終更新